



園だより（年長つき組）



小田原市立下中幼稚園

令和3年4月30日

進級してから1ヶ月が経とうとしています。「年長さんになったんだ。」という意識をもって張り切っている姿を園生活の様々な場面で見ることができました。最初は張り切り、やや緊張気味な様子もありましたが、少しずつ、リラックスしてつき組での園生活を楽しめるようになってきました。年少組のときに培ってきたパワーを土台としてさらにパワーアップしてほしいと思います。年長組での生活を楽しみながら、いろいろな経験ができるようにしていきたいです。1年間よろしくお願いします。

なかよし会をしました



登園時や戸外に出るときにさくら組さんの部屋の前を通り、さくらさんの様子に興味津々な子どもたち。入園したばかりのさくらさんに『これからよろしくね!』の気持ちを込めてなかよし会を開きました。どんな会にしたいのか、どんなことをしてあげたいのか相談すると「歌ったり、踊ったりするといいいんじゃない。」「歌は友達の歌がいいな。」と意見が出て、みんなの思いを込めたなかよし会を考えました。進行するにあたり、みんなで決めた内容の順に進められるようにプログラムを作り準備もばっちり。なかよし会本番は、少し緊張しながらも元気に歌ったり、踊ったりすることができ、さくら組のときから準備していたお散歩ポシェットのプレゼントも渡すことができました。終わって数日たったところに、「なかよし会楽しかったな。」という声が聞かれました。さくら組さんのことを思いながら、自分たちで計画したことを進めていく経験が達成感につながっているようでした。

こいのぼりを作りました。



つき組の部屋から吹き流しだけが見えたこいのぼり。「どこで上がっているのかな。」と散歩しながら、探しにいきました。道路から眺めていると家主様のご厚意でお庭にお邪魔させていただきました。「幼稚園もこいのぼりあげればいいのに。」という声が出て、「前に年長さんが作ったのをあげたことがあるよ。」と知らせると「みんなで作ろう!」とこいのぼり作りが始まりました。「どんなこいのぼりにする?」「みどり。」「あか!」と作りたい色を口々に言い、最終的にみんなが使いたい色を全部使って5匹のこいのぼりを作ることになりました。

作る過程で、友達と相談しながら決めたり、どうしたらこいのぼりみたいになるのか考えたりしなければいけないことがたくさんありました。どの色をどの大きさにするのか部屋にビニールを並べ見比べながら相談し、「こいのぼりの目ってどんなかな?」と絵本や実際のこいのぼりを観察して、目の色、形、大きさを考え、また「うろこって何個つくればいいのかな?」とこいのぼりの体にうろこ型の紙を置き、何度も数えるなどそれぞれの力を合わせて作りました。5匹のこいのぼりを作るのは大変だったと思いますが、どの子もよく頑張っていました。

さくら組の時から栽培しているスナップエンドウが収穫の時期を迎えました。一度にたくさん持ち帰れるように、3人から4人くらいで収穫しています。

この日は、たくさんも実っていたので、一人30個収穫しました。30個をいっき・に数えるのは難しいので、10個を3回や3個を10回にしながら数えています。本当に30個とれたかな。とテーブルに並べて数えて確認していました。